



2 学期スタート

約 40 日間の夏休みが終わり、2 学期が始まりました。子どもたちは、1 学期に比べて体が大きくなり、日焼けもあってたくましさも感じられます。2 学期にあたる 9 月～12 月は、多くの農作物が実りの時期を迎えます。学校においても同じことが言える時期です。4 月から 1 つ 1 つ積み上げてきた活動の成果が日常の生活や学習に中に少しずつ表れるとともに、成果を発表するときでもあります。運動会、総合学習発表会、競技会などの行事がそれにあたります。実り多き 2 学期となるよう毎日の活動を中身の濃いものにしたいものです。

広幡小（岐阜県）との交流会(8/20)

昨年度から始まった岐阜県養老町の広幡小学校との交流事業の 1 つとして、5、6 年生の代表が広幡小学校へ訪問しての交流会を行いました。広幡小学校は学校ができて 140 年以上を数え、甚目寺小学校と同様に長い歴史のある学校です。平成 26 年度よりユネスコスクールに登録され、地域の自然や文化を中心としたふるさと学習に取り組んでいます。また、学校の諸活動に地域の人々が積極的にに関わり、コミュニティスクール「地域の学校」としても新たなあゆみを始めています。両校の交流活動は、ユネスコスクールの活動目的の 1 つでもあります。

交流会は、広幡小学校の全校出校日に訪問し、互いの学校紹介を行うというかたちで行われました。甚目寺小学校は、地域紹介、学校紹介、5 年・6 年の ESD の活動紹介のあと、簡単なクイズで内容を深め、仕上げに校歌の 1 番を歌いました。広幡小学校は、地域紹介、学校紹介のあと、長年取り組んでいるふるさと学習の様子が紹介されました。交流会の最後には、両校からの質問・感想タイムが設けられ、広幡小学校の児童のみなさんから数多くの感想の言葉をいただきました。



【広幡小の学校紹介に耳を傾ける】



【両校代表の集合写真】

※ユネスコスクールとは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

ユネスコスクールは、1953 年、ASPnet (Associated Schools Project Network) として、ユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践するため、国際理解教育の実験的な試みを比較研究し、その調整をはかる共同体として発足しました。世界 181 か国で約 10,000 校が ASPnet に加盟して活動しています。日本国内では、2015 年 4 月現在、913 校の幼稚園、小学校・中学校・高等学校及び教員養成系大学がこのネットワークに参加しています。日本では、ASPnet への加盟が承認された学校を、ユネスコスクールと呼んでいます。文部科学省および日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールを持続可能な開発のための教育 (ESD: Education for Sustainable Development) の推進拠点と位置づけ、加盟校増加に取り組んでいます

○ ユネスコスクールの活動目的

- ・ ユネスコスクール・プロジェクト・ネットワークの活用による世界中の学校との交流を通じ、情報や体験を分かち合うこと
- ・ 地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指すこと
(ユネスコスクールHPより抜粋)

